

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 北九州市 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	北九州市立花尾小学校 6年生 3クラス 89名 (見学：4・5年 6クラス 200名)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (「レスリング」を体験しよう。) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック(韓国)との交流を通して、オリンピック・パラリンピックについての興味・関心を深め、スポーツをしたり見たりしようとする心情を育むことができるようにする。 ・オリンピック(韓国)との交流を通して、どの国においてもオリンピック・パラリンピックへの熱い思いをもって取り組んでいることを感じることができるようにする。 ・日頃あまり体験することのないスポーツに触れることにより、新たなスポーツへの興味・関心を広げることができるようにする。
5 取組内容	<p>○前日に「レスリング」に対するイメージを問いかけ、明日の交流への興味・関心を高めた。</p> <p>1. 選手との出会いの場を設定する。 ・通訳の方を通じて、自己紹介等をしていただく。その中で、「今、現在目指している目標」について、一人一人の思いを聞く。</p> <p>2. レスリングについての知識を深める。 ・九州共立大学の監督によるレスリングのルールに関する説明を聞く。実際に選手に動きを師範してもらいながら、説明を聞く。</p>



【説明内容】

- ・レスリングの日本と韓国の特徴について
- ・レスリングのルールについて

- ・グレコローマンスタイルとフリースタイル
- ・得点について（技による）等

○日本のイメージとしては、女子が有名でありフリースタイルをイメージしている児童が多くいたが、児童にとっては、新たに知る部分が多くあった。

3. 選手と交流する。

- ・14名の選手に対して、マットに倒すように組む。自由に多くの選手と関わりながら、選手の力強さを体感していった。
- ・その後、より選手の凄さを体感できるように、グランド姿勢の選手を、「ローリング」させることに挑戦する場を設定する。



また、ローリングさせられない側も体験できるようにした。

6組が一度に行うことで、多くの児童が体験できるようにした。



- ・体験のまとめとして、代表児童と教員がオリンピックと試合をする体験を行う。児童や教員が息が上がる姿を見て、選手の力強さが改めて感じられた。



- ・最後に記念撮影や握手を行い交流を深めた。



○翌日、児童の感想から、オリンピック・パラリンピックへの熱い思いや、いろいろな種目のスポーツがオリンピックで行われていること、また種目ごとの楽しさがあることをまとめた。

6 主な成果

- ・試合のデモンストレーションや、選手とのレスリング体験から、映像からは感じられない、選手の力強さ等を実感することができた。
- ・ルールを知ること、スポーツの見方が変わることを知ることができた。
- ・他国の選手ことや、東京2020に対する興味や関心も高まった。

7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民スポーツ文化局やレスリング協会の方にご協力いただき、実際のリングの広さなど体感できる場を設置することで、レスリングの雰囲気を楽しむようにした。 ・多くの選手を招聘することで、選手との交流時間を確保できるようにした。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的に取り組めるように、体験活動ができる状況をつくり出すこと。
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ボッチャなど、低学年から体験できるアダプテッド・スポーツを中核とした取組を位置付けていきたい。